

2011年9月29日

世界最薄・最低消費電力の液晶レンズを開発

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市、社長：有岡雅行）は、秋田県産業技術センターと共同で、世界最薄*（厚さ0.5mm）・最低消費電力*（0.5mW）の液晶レンズを開発しました。

液晶を封止するガラス板厚を極限まで薄くすることにより、撮像用の液晶レンズとしては従来の半分以下の薄さを実現しました。今後、薄型・軽量化が予想される携帯電話や情報端末の内蔵カメラや業務用カメラへの応用が期待できます。

液晶レンズとは、楕円球形状をした液晶分子の配向を利用したレンズです。非球面レンズの特性を得ることができ、操作電圧をコントロールすることにより任意の位置に焦点を合わせることが可能です。また、モーター等の駆動部がないため、大幅な省スペースと低消費電力に加え、高い製品信頼性が実現できます。

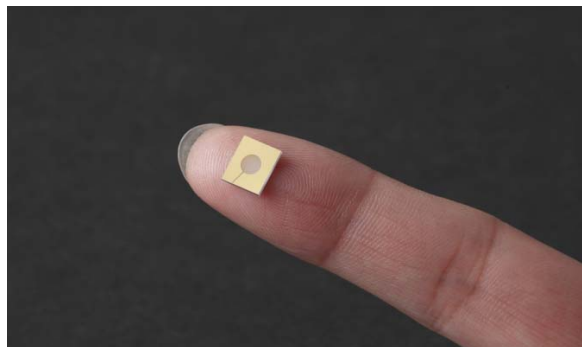
当社は、高度な薄板ガラス技術を有しており、そのアプリケーションのひとつとして、液晶レンズの開発を手がけてきました。今回当社が開発した液晶レンズは、タブレット PC や携帯電話等に対応したサイズと低駆動電圧化に加え、世界最低の消費電力*を実現しており、年内をめどにサンプル出荷の準備を進めています。

本液晶レンズは、2011年10月4～8日に幕張メッセで開催される CEATEC JAPAN 2011 の当社ブース(No.5D11)に出展予定です。

（*2011年9月現在。当社調べ。）

《製品概要》

- ・厚さ 0.5mm
- ・レンズ径 3.0mm
- ・重さ 100mg
- ・消費電力 0.5mW 以下



以上

（リリース内容に関するお問い合わせ先）

日本電気硝子株式会社 総務部 広報担当(松田)

電話：077-537-1861

（製品に関するお問い合わせ先）

日本電気硝子株式会社 電子部品事業本部営業部(林)

電話：077-537-8767